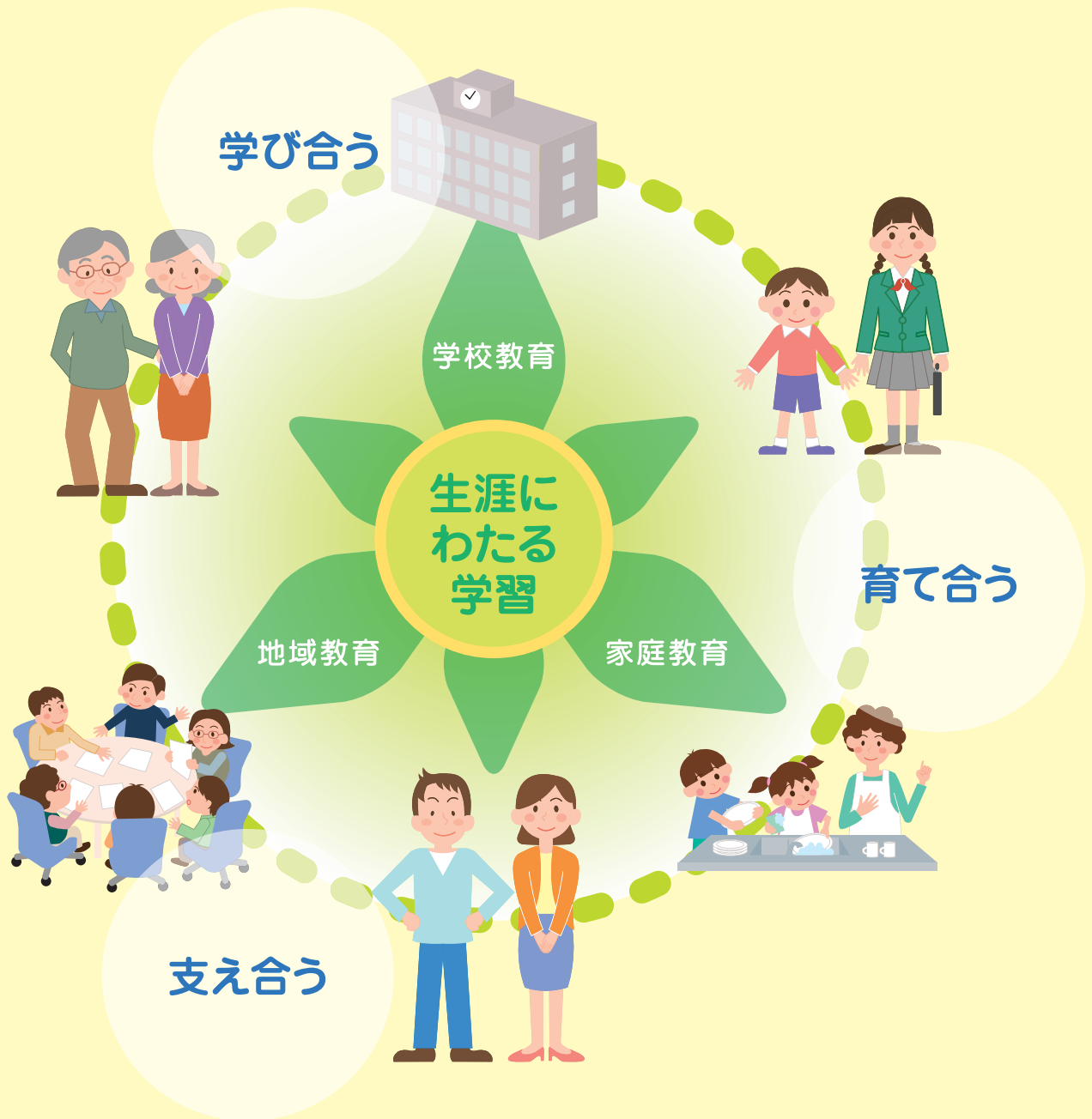


改訂版

# 小平市教育振興基本計画

＜概要版＞

## はぐくみ・支え合い 学びでつながる 小平の人・まち・未来



小平市教育委員会

# 改訂にあたって

## 計画改訂の背景と目的

平成25年(2013年)2月に小平市の教育が10年間でめざす方向性とその実現のための施策を明らかにするため、小平市教育振興基本計画を策定しました。

計画策定から5年が経過する平成29年度(2017年度)に、計画に掲げる数値目標の達成状況を確認し、これまでの取組を検証するとともに、社会情勢の変化などを踏まえ、計画の後半5年間で達成を目指す数値目標の設定や取組の検討を行いました。

# 教育は人づくり

## 小平市の教育がめざす人間像

社会的に自立し、地域・社会に貢献しながら、他者と共生する人

### 共生

他者を認め、良好な関係を築く

### 小平市の教育における「生きる力」

### 貢献

地域や社会に愛着を持ち、自分にできることを考える

### 自立

自分で考え、判断し、行動できる

急速に変化する今日、そして将来を力強く生きるためには、**自立**が必要です。また、自分にできることで地域や社会に**貢献**する人が、地域と社会を支える人です。

さらに、今日の男女共同参画社会や、国際化・情報化の進展、環境問題への対応などには、自他を認め合い、互いを思いやる**共生**が不可欠となります。

# めざす人間像を実現するために

## 計画の基本理念

### 基本理念にはこんな意味が込められています

将来を支える子ども自身の自立を学びが支えます

学校に関わる人々が教え・教えられるながら、小平のまち全体で子どもを育てます

学んだことを地域に還元することで、地域の学びや地域自体が活発になります

小平市の文化・歴史・自然等の財産について学び、将来につなげます

はぐくみ・支え合い  
学びでつながる  
小平の人・まち・未来

めざす  
人間像の  
実現へ

### 具体的な3つの目標と15の基本的施策・3つの重点プロジェクト

今後5年間で取り組む具体的な目標を設定し、達成をめざします。

そして、目標を実現するための基本的施策とともに、重点的に取り組むプロジェクトを推進します。

## 目標

将来の社会を支えるすべての子どもの「生きる力」をはぐくみます

自立 つちが 小平で基礎を培う

子どもたちに何より必要なのは、困難な状況にあっても、たくましく、しなやかに「生きる力」です。

子どもたちが、将来自立し、社会の未来を切り拓きながら生涯を生きていくために、小平市の小・中学校における9年間の学びが果たす役割はとて重要です。

したがって、小平市のすべての子どもの「生きる力」を育み、小平の地で学んだことを子どもたちが誇りに思える教育をめざします。

すべての子どもが

- 学ぶ意欲をもち、あらゆることから学びとる
- 健康を大切に思い、体を動かすことに親しむ
- 自分の良さ、他者の良さに気づき、相手を思いやる
- 将来の自分を思い描き、夢を持つ
- 地域を愛し、自分にできることを考える

### 目標値

- 授業の「わからない」を減らす
- (学校の授業以外で)「運動しない」を減らす
- 「自分を大切な存在だと思わない」を減らす

アンケート調査結果(平成28年11月実施)から



## 重点プロジェクト 1 すべての子どもの生きる力を強化する

### 学習指導要領の趣旨の具現化

学習指導要領の趣旨である「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」という資質・能力の3つの柱や「主体的・対話的で深い学び」を各学校の教育課程の編成に生かし、具現化させます。そのために、各職層の研修や連絡会を充実させます。

また、小平市の子どもに共通して身に付けてほしい授業規律や学習の習慣について、学力調査や体力調査などの結果を分析し、小平市の子どもの実態に即した目安となる規準を具体的に示し、家庭、地域、学校が共有し、協働することで、子どもの基礎・基本の学力の定着を図ります。

### 「楽しみながら運動プログラム」の実践

地域の人材等の協力を得て開発した楽しみながら運動機能を向上させるプログラムを各学校に周知し、今後の5年間において各学校の教育活動や家庭で実践できるようにします。楽しみながら日常的な運動に親しむことで、子どもの運動嫌いの克服や運動習慣の定着、基礎体力の向上をめざします。

### 人権教育の推進

東京都教育委員会作成の「人権教育プログラム(学校教育編)」を活用し、いじめをはじめとするいかなる差別や人権侵害も許さない、自分の大切さとともに他の人の大切さを認める人権教育を推進します。そのために、各学校からの代表者で構成された人権教育推進委員会を開催します。

### 小・中学校9年間を見通したキャリア教育の充実

特別活動を要として各教科等の特質に応じて、小・中連携教育による9年間の系統的なキャリア教育を充実させます。また、中学校2年生の職場体験の充実のために、関係課、市内事業所との連絡調整の場を設け、職場体験の受入れを円滑に進めます。

さらに、人との関わりをもつ機会を充実させ、自尊感情を高めるとともに、小平市について理解し、愛着をもち、発信できる力を身に付けさせます。

子どもたちを育てる責任は、家庭だけでなく、学校・教員・行政、地域のすべてにあります。

これらが、それぞれの責任と役割を果たしながら、互いに補い合い、支え合うことで、子どもたちをより豊かに育てることができます。

一方、育てる人たちも、家庭や組織、地域の中で、「育て、育てられる」関係にあります。

したがって、育てる人たちが、小平の地で「育て・育てられている」ことを実感し、共に生き、成長することを誇りに思える教育をめざします。

## 目標 学校・家庭・地域が互いを育て合い、子どもを支えます

# 2

共生 小平で共に成長する

- 学校が、期待と信頼に応える
- 家庭教育が、元気と自信をつける
- 地域教育が、新たなステージを切り拓く

### 目標値

○「教育環境が充実していると思う」を増やす

世論調査結果（平成28年7月実施）から



## 重点プロジェクト 2 学校・教員・家庭・地域が高め合う

### 効果的な研修体系の整備及び精査

社会人、公務員としての高い道徳観・倫理観と、学習指導力、生活指導力、進路指導力、学級経営力、今日的な教育課題への対応などを身に付けるため、継続して研修内容の見直しを行うとともに、個々の教員の経験やライフステージにも配慮することで、早期の能力向上を図れる効果的な研修体系を整備します。また、教職員一人一人の服務に対する自覚を高め、服務事故の根絶と信頼回復に努めます。

### コミュニティ・スクール推進事業

学校経営協議会を設置し、保護者や地域住民等が一定の権限と責任の下に学校経営に参画するコミュニティ・スクールの推進を図り、地域の教育力を学校教育に生かすとともに、地域とともにある学校づくりを進めます。また、現在コミュニティ・スクールとなっている8校に加え、新たにコミュニティ・スクール化をめざす学校を支援し、より多くの学校で地域の多様な人材や資源と連携した教育活動が進むよう取り組みます。

### 地域と学校の連携・協働の推進

学校支援コーディネーター・ボランティアが学校の運営や教育活動を支援する小平地域教育サポート・ネット事業や、地域のボランティアが子どもたちに放課後等の学習・スポーツ・文化活動などの機会を提供する放課後子ども教室、また、学校・家庭・地域を結ぶ青少年対策地区委員会の活動に対する支援等に継続的に取り組み、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える地域と学校の連携・協働体制の維持・推進を図ります。

### 教員の働き方の見直し

教員が子どもに向き合う時間や授業研究等による資質・能力の向上に充てる時間を増やすとともに、心身ともに健康を維持できるよう、働き方の見直しに取り組みます。そのため、新たな人員配置や労働環境の整備、校務の精選、教員自身の意識改革、保護者・地域の理解促進等、市及び学校において可能な方策を講じます。